会報　したのさわ

No.1
発　行：下の沢集落運営協議会
発行日：令和４年６月１日

真昼温泉の運営開始

いよいよ下の沢集落運営協議会による真昼温泉の運営がスタートしました。去る４月１日（金）には、内記町長、高橋雅一町議会議長の来賓のほか、集落内外から多くの参加者を得て「運営開始式」が行なわれました。

「小さな集落の大きな挑戦」と銘打った今回の取組みには、マスコミの関心も集まり、当日は新聞２社とテレビ２社の取材があったほか、４月７日（木）には、めんこいテレビが夕方のニュース番組に合わせて真昼温泉と県内のお茶の間を生中継で結ぶという、おそらく下の沢では初めての出来事にまで発展しました。

テレビ（IBC）の取材を受ける高橋修会長

ご協力に感謝

集落による運営開始に備え、３月30日（水）には地域住民の奉仕活動により館内の大掃除を行うことができました。また、運営開始式に当たっても、会場設営や当日の玄関の生け花、お祝いのお花の提供など、集落の皆さんから多大なご協力をいただきました。あらためて皆さんに感謝申し上げます。

真昼温泉はまさに「おらほの温泉」です。集落みんなの思いが円滑な運営の支えになります。今後とも物心両面でのご協力をよろしくお願いします。

右のお花は高橋篤さん・あさ子さん夫妻から
左は高幸建設様から

花植えは６月４日（土）

恒例となっている旧公民館の花壇の花植えは、６月４日（土）の午後４時から行うことにしましたので、集落の皆さんのご協力をお願いします。

なお、この共同作業に参加した人には下の沢農地・水環境保全会から賃金が支給されることになっています。

お知らせ

地区集会所（旧公民館）前の花壇の花植えを下記のとおり実施しますのでご協力くださるようお願いします。

記

日　時：６月４日（土）午後４時
※役員は午後３時に集合願います

（うら面に続く）

「さなぶり」は見送り

コロナ以前に、花植えの後に催していた「さなぶり」（根付祝い）は、現在のコロナの状況では、まだ地域住民が安心して参加できる環境に至っていないものと判断し、残念ながら今年も開催を見送ることにしました。

ちなみに、さなぶりは漢字では「早苗饗」と書き、田植えが終わったことを田の神に感謝し、田植えの重労働を慰労する行事として昔から行われてきた農村の年中行事のひとつです。

集会でのさなぶりは叶いませんでしたが、各々で今年の豊作を祈りたいものです。

真昼温泉の利用者数

真昼温泉の利用者数の状況ですが、4～5月について、今年と昨年の比較をしてみたところ、営業日数と営業時間が少なくなっていることもあり、昨年に比べ今年の延べ利用者数は減っていることが分かりました。

ただし、利用者の内訳では、全体に占める町外利用者の割合が今年のほうが多い傾向にあり、これについてはマスコミに取り上げられたことによる一定の宣伝効果があったものと推察しているところです。

町外利用者の拡大を

高齢化が進む西和賀町では、新規利用者がほとんど見込めないことから、ターゲットを町外や観光客に定め、一定の利用者数を確保していく必要があります。専用のホームページ開設など、インターネット等による情報発信を行い、町外利用者の拡大を目指していきたいと思っています。

浴槽をきれいにしました

以前から真昼温泉を利用している人は気づいたかと思いますが、5月18日以降、浴槽が見違えるようにきれいになりました。

長年にわたる湯垢などの付着によりタイルが変色し、日々の清掃では汚れが落ちなくなっていましたが、今回、こうした汚れに効く特殊なを探し当て、2回にわたる汚れ落とし作業を経て、見事に真っ白なタイルが復活しました。これでますます皆さんに気持ち良く入浴いただくことができます。作業のほとんどを高橋勤さんにやってもらいました。大変ありがとうございました。

作業前のタイルの汚れ（男湯）

こんなに真っ白に

真昼温泉の定期大清掃

下記のとおり計画しておりますので、集落の皆さんの協力をお願いします。

記

期日：7月26日（火）／11月29日（火）／3月28日（火）
時間：それぞれ午前9時から12時まで
※　毎回参加者を募集します。また、参加いただいた方にはお弁当を支給します。